

## 出雲市功労者として表彰いただきました

このたび、出雲市市制施行 20 周年にあたり、社会福祉法人 金太郎の家として福祉部門の功労表彰をいただきました。3 月 22 日には記念式典に参加し、表彰状と記念品をいただきました。平成 11 年に当施設を立ち上げ、今年で 26 年目を迎えます。今後も地域の福祉拠点として尽力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 麦の家販売会 in 道の駅湯の川



3/20 に道の駅湯の川で販売会を行いました。麦の家の看板商品である姫茶や豆類他、ちっちゃいネギや手作りこんにやく、小豆を使用したお菓子等を販売いたしました。当日は沢山の方が来て下さいました。当事業所を知ってもらう良い機会となりました。また、やまもの会様が主催されている喫茶やまもへ時々出店しています。今後も販売会を計画、出店を予定しています。金太郎の家の SNS(フェイスブック、Instagram)に随時掲載しますので、良かったらチェックして下さいね。

## 本を楽しむ会



デイサービスでは、週 1 回「本を楽しむ会」を開催しています。1 冊の本を順番に音読し、感想を言い合う大人の読書会です。ある日は、佐藤愛子著『九十歳。何がめでたい』本の内容に「そうだよねー」と共感したり、思い出を語ったりと話が尽きません。自然と感想が飛び交う楽しい場となっています。また、声に出して読むことで口のリハビリにも繋がっています。先日、上記の本を読み終えました。ぜひ、みなさんのおすすめの本も教えてください。

私は「もったいないばあさん」である。物はそう簡単には捨てられない。近年雑誌やテレビで「断捨離」という言葉がもてはやされ、「捨てる」ことがあたかも美德のように言われていることに違和感を覚えている。「物は大切に」という考え方の中で育ってきた私には、捨ててすっきりという世の中の風潮についていけない。そんなことをつらつら考えていたら、五木寛之氏の『捨てない生き方』という本を見つけた。我が意を得たり、手に取った。この本を引きながら、改めて「ものを捨てる」ということについて少し考えてみた。そもそも、「断捨離」などという崇高な仏教用語を、安易に使うべきではないと私は思っている。五木氏によると、「捨てる」の源流は中世の法然を源流とする浄土宗からという。世を捨て物欲を捨てて仏の道を極めようとする聖の崇高な思想であり、今日の使い方とは次元が違う。今、捨てることが美德とされる背景には、日本社会の高度成長期からの大量生産大量消費があるのではないかと私は思う。大量に作られた物は大量に消費されねば次の生産に結びつかない。そして、人間の欲望と共に物はどんどん増えていく。それを背景に現代の断捨離の考え方も広まったのではないか。デザイナービズの活動で毎週月曜日に行っている『本を楽しむ会』でもこの本を紹介した。感想をいただく中で「自分たちは戦中戦後の物のない時代に生きてきた。当時は捨てるどころか日々の食べるもの、着るものにも事欠いた。」「物を大事にすることが身にしみている。」と口々に話された。しかし、昔の話としてだけあるのではない。今も戦争により住む家をなくし、食べる物もなく死んでいく子供たちがいる。難民キャンプの方などたくさんの方が、今も捨てるどころか物がなくて苦しんでいる。海外だけではない。日本でもあちこちでフードバンクが開かれるほどに物は偏在している。近年 SDGs 持続可能性ということが、国際的に提唱されるようになった。この本の中でも、イタリアのファッションデザイナー…アルマーニ氏のこんな言葉が紹介されていた。「ファッション業界は今立ち止まって考える時期にきており、移り変わる流行に翻弄されないものを作る必要がある。」と。今、様々な業界で SDGs の取り組みが始まっている。金太郎の家でも、ささやかながら EM 菌を使った生ごみの肥料化、空き缶の回収リサイクルなどに取り組んでいる。世界のこの流れがもっと太く強く確実なものになっていくことを願う。私たちもエコバッグ、マイボトル、食品ロスを減らすはもちろん、一つのを大事に使う、物の命を使い切ることなど一人ひとりが意識すれば取り組めることはたくさんある。今一度「もったいない」を私たちの生活の中に取り入れていきたいと思う。

もったいないばあさんの独りごと

# 金太郎だより



2025 年 5 月 20 日号

社会福祉法人 **金太郎の家**  
〒699-0501  
出雲市斐川町学頭 1511 番地 1  
☎ 0853-72-5110  
☎ 0853-72-5192  
✉ honbu@kintarounoie.jp  
🌐 「金太郎の家」  
📘 「金太郎の家」  
📷 「金太郎の家」  
で検索！！

理事長 阿食 かをる

♪  
♪  
♪  
♪  
♪  
!



## 餃子

生活介護活動で、餃子づくりを行いました。野菜を切る、餡を餃子の皮で包む工程は利用者の方にも協力していただきました。大変好評で、おかわりの声がたくさん挙りました。「美味しかったよ!」「今日は満たされた」等々感想を聞くことができました。今後も利用者の方の食べたいものを聞きながら、計画を継続していこうと思っています。



## ピザ

デイサービスでは、ホットプレートでピザを作りました。これは、ピザを食べたことない方やケチャップ好きの方の要望に応える形で実施しました。小麦粉等の材料を袋に入れ、もみもみとします。すると、生地がひとまとまり、さらに薄くのばしていきます。後はピザソースを塗り、好きな具材を! チーズはたっぷりです! 事前に生地や具材に火を通しておく時短ピザのできあがりです。なかなか生地から作ることもなく、みなさん真剣に作業しておられました。焼きたてはチーズがよく伸びおいしくいただきました。



## 手巻き寿司

節分ということで、デイサービスでは手巻き寿司をしました。好きな具材を好きなだけ巻いて食べました。具材も自分たちで手作りです。きゅうり、かにかま、ツナマヨ、そぼろは甘辛く炒めました。「ホットプレートでたまごはどうやって焼いたら良いですか?」と聞くと、「まかせて」と、薄焼きたまごを端から細く巻いてちょうど良いサイズに! 私には思いつかないアイディアでした。想像以上にボリュームたくさんになり、みなさんお腹いっぱいになりました。いつもと少し違う昼食の時間を楽しみました。



**金太郎畑より**

先日、じゃがいもの間引きを行いました。間引きって何だかもうっていないなどと思ってしまいましたが、私だけでしょうか？けれども、これで大きなじゃがいもができます。

たまねぎも順調に育っています。販売をはじめて5年目を迎え、年々収穫量も増えています。今年は何のくらい収穫できるかな？

**金太郎の家 花の便り 「君子蘭」**

数年前にいただいた君子蘭(くんしらん)。なかなか花が咲きませんでした。今年念願の開花です。



**お知らせ**

- ◆ 2/13 (木) 第三者委員会を開催しました。
- ◆ 3/12 (水) 火災避難訓練を開催しました。
- ◆ 3/25 (火) 令和6年度第3回理事会を開催しました。

**御礼**

- ◆ やまももの会様、崇玄寺仏婦の会様より、布巾の寄付をいただきました。
- ◆ ご利用者様、ご家族様、地域の方々より多大なる寄附及び季節の果物や花々等、差し入れていただきました。感謝申し上げます。

**ゆめいくワークサポート事業より助成いただきました**

- ◆ ゆめいくワークサポートの助成を受け、ビニールハウスを設置しました。この事業は株式会社山陰合同銀行様、島根県健康福祉部障がい福祉課様、島根県社会福祉協議会様の三者が協働で実施している事業です。

ビニールハウスはオリジナル茶製造用のクロモジやドクダミの乾燥、保管場所等として活用していきたいと思っております。

助成いただきました方々には、厚く御礼申し上げます。



**第18回 運営推進会議報告**

令和7年4月16日、ご利用者様、ご家族様、地域住民様、有識者様に来ていただき、デイサービス運営推進会議を開催しました。現在の利用状況、デイサービスの行事・活動報告、苦情・ヒヤリハット報告また最近のデイサービスの活動の様子について写真を用いて報告しました。

意見交換では日頃、ご利用者様やご家族様が感じていることとお話していただきました。「人ごみに出ることは億劫だったが、今は出かけることを楽しみにしている」、「ご利用者の希望に添ったケアをしている」等、あたたかいご意見をいただきました。一方で、苦情・ヒヤリハット報告に対してアドバイスをいただきました。

いただいた意見を参考に、より良い金太郎の家となる様、職員一同取り組んで参りたいと思っております。

**金太郎の家いろいろ美術館 誌上展覧会**

12か月 デイサービス

1091mm×788mm  
絵具、画用紙、折紙  
2024年

**ご利用者Hさんにインタビュー 生き方探訪 ～ ありがたいということ ～**

腰や肩が痛くなくても畑で働くことが大好きなHさん。「こうして働かせてもらえたり、人に喜んでもらえることが本当にありがたい。」と、いつも感謝の言葉を口にされるご利用者様です。

ご苦労されてきた人生をお聞きし、「嫌なことがあった時は、『神様から与えられた試練。いろんな人に力を借りて乗り越え、成長できる機会になる。良い事も嫌な事もすべてがありがたいこと。』と思っていた。それでも堪え切れない時は、夜に本の中に入ると現実を忘れることができ朝からはまた頑張れた。」と話して下さいました。

その中でも、「曾野綾子」さんの本は、やればできる・自分も頑張れると背中を押してくれたとのこと。

Hさんとの対話の中からは学ぶことが多く、私も「ありがたい」という言葉が自然と口から出る様になりました。今あるすべてに感謝をすること。今日もありがたい1日が始まります。

**令和6年度第2回介護の集い**

3月1日、金太郎の家別館にて、令和6年度第2回介護の集いを開催しました。今回は、前々回好評だった映画の続編の上映会です。

信友直子監督  
『ぼけますから、よろしくをお願いします。～おかえりお母さん～』

認知症の母親とその母を支える父親の老々介護の日々を娘である監督が記録したドキュメンタリーです。認知症と向き合いながら、ほのぼのと、時には葛藤する家族を描いています。

介護の集いは、当事者、ご家族、地域の方が介護について考えるきっかけづくりの場となることを目的としています。介護の疑問や不安を皆さんで共有し、想いや意見を話し合います。今回は映画を通してですが、介護の集いでは、これからも他の家族の介護を見て、聞いて、介護についてより一層考える機会となることを願います。

**商品紹介 「大納言小豆」**

300g 400円(税抜)

表の家では、出雲市産の大納言小豆を販売しております。ぜひご賞味ください。

- ① 小豆をざっと洗い、すぐに炊飯器の釜に入れ、水を加えて、小豆を均等にならし、早炊きモードで炊く。
- ② 炊きあがったら優しく混ぜ、もう一度早炊きモードで炊く。
- ③ 耐熱ボウルに②とAを入れ、ざっと優しく混ぜ、ふんわりラップをして電子レンジ600Wで5分加熱する。
- ④ 再度混ぜて、ラップを外し、電子レンジ600Wで2分加熱する。
- ⑤ もう一度混ぜて粒あんが完成。これを熱いうちにブレンダー等で攪拌するとごしあんになります！

材料

小豆	1カップ(170g目安)	A
水	800ml	
砂糖(三温糖)	100g	
塩	ふたつまみ	
みりん	20ml	

参考 リビエール <https://livingyell.jp/>  
「おいしいあんこをもう一度手づくり」

《金太郎 ながみ川柳会作品》R7.5月 兼題「光る」「見る」「自由吟」

出雲弁はいごんして叱られる  
よく光る星は亡夫かな手を合わす  
テレビ観て思ったことはメモを取る  
山尽し新たな幸を連れてきた  
見る者をやさしく包み散る桜  
赤飯を食べてめでたい日を作る  
サクラサクラやさしい人になれるよう  
新しい出会い心も見せ合つて

松本 文子さま  
西 博美  
嘉藤 敬  
坂本 幸江  
三島 道夫  
見越 千工子  
原 明子  
金森 武夫

**金太郎の家の新しい仲間を紹介します**

**坂本 裕子 (さかもと ゆうこ) 通所介護**

2月よりデイサービスで勤務しています。今まで松江のデイサービスで働いていたので、斐川平野の広さに驚きながら少しずつ土地の名前を覚え、安全運転第一で「朝から笑顔であいさつ！」を心掛けています。

音楽が好きなので、年1回は小4の娘とクラシックコンサートに行ったり、家でピアノをちょこっと弾いたり。利用者の皆さんの歌声に合わせて伴奏できたらいいなと思っています。これからもよろしくお願いします。

**原 遥奈 (はら はるな) 通所介護**

3月から勤務しています。今まで、介護・障がい者施設で働いてきました。

ご利用者一人一人に寄り添ったケアが出来るように頑張りますので、よろしくお願いします。

**八木 一裕 (やぎ かずひろ) 福祉移送**

5月より、ドライバーとして「金太郎の家」にお世話になりました八木と申します。

前職は利用者様宅へ「福祉用具」(ベッド・車イスなど)を納品に伺う仕事に就いていました。

安全・安心な運転、親しみやすいドライバーになれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

